

《整備コンセプト》

跡地が国史跡八代城跡や国名勝松浜軒、松井神社、博物館、お祭りでんでん館などの歴史・文化ゾーンの中央に位置し、国史跡八代城跡の堀端に立地することから、中心市街地における常に人々が交流し街なか観光の起点となるよう、『おほりば街なかスポット』を整備コンセプトとした人を引きつける新たな空間を整備します。

旧八代市厚生会館
跡地利活用基本構想

詳細はこちら→



〈整備イメージ〉

《跡地利活用案》

跡地を多くの人々が集まる活気に満ちた街なか観光の拠点や、休息や憩いの場として活用するための主な利活用案を紹介します。

跡地のにぎわいを街なかへ波及

八代くま川祭りなどの集客効果の高いイベントと、近隣商店街の取り組みを連動して実施し、跡地のにぎわいを街なかへ波及させます。



伝統文化を感じながらの街なか散策

市内各所で継承される無形民俗文化財の実演披露や体験イベントなどで広場を活用することにより、伝統文化を身近に感じ、歴史文化資源を巡りながら街なかを散策する機会を創出します。



跡地から中心市街地への回遊促進

今後実施される「八代垂紀さんメモリアル事業」(お祭りでんでん館前への記念碑設置など)や、こいこい通での屋台村、フードコートなどの周辺情報の情報発信を行い、跡地から中心市街地への回遊を促します。

居心地の良い場所・交流の場

高齢者がウォーキングを楽しんだり、親子で遊べる遊具やお祭りでんでん館の屋根下空間を活用した読書・飲食スペースを設置します。



おほりば街なかスポット

旧八代市厚生会館跡地利活用基本構想を策定しました。



令和5年7月に閉館した八代市厚生会館の跡地を、市民の皆さんのにぎわいと憩いの場となるよう、跡地利用の基本理念やコンセプト、導入機能などについて取りまとめた基本構想を、令和7年3月に策定しました。

市民の皆さんの意見や思いを踏まえながら進めるため、策定にあたっては無作為に抽出した3千人を対象とした市民アンケートを実施しました。また、地域団体をはじめ、商業団体、経済団体、文化団体の皆さんにも意見を伺うなどの協力をいただきました。

《導入機能と想定される整備内容》

整備コンセプト	基本方針	導入機能	想定される整備内容
お オリジン Origine(起点・起源) 観光の起点としての役割だけではなく、地域の伝統芸能・文化の情報発信の場として、交流・情報の起源となるような場所を創出します。	起点となる場所	観光誘導・回遊促進機能	観光案内設備(観光案内・情報発信板)
		交通結節機能	新八代駅や八代駅と連絡する交通機関の検討、駐車場、駐輪場
ほ ホットスポット Hot Spot(人気・活気・にぎわい) にぎわいと活気に満ちた常に人々が交流する人気スポットとなるような空間を創出します。	活気とにぎわいのある場所	交流機能	芝生広場(園路など含む)
		にぎわい機能	芝屋外ステージ、キッチンカースペース・電源設備など
り リラクゼーション Relaxation(憩い・癒し) 休憩や余暇、防災機能を補い、中心市街地の憩いの場、歴史・文化ゾーンの癒しの場となるような空間を創出します。	癒しと憩い、安心を提供する場所	余暇・レクリエーション機能	芝生広場、周回園路、簡易遊具、ベンチ
		防災機能	かまどベンチ、マンホールトイレ、防災井戸、ソーラー式街路灯(給電機能付)、備蓄倉庫
ば バラエティ Variety(多様性・異種) 子どもや高齢者、障がい者、外国人観光客などのすべての利用者が快適に利用できる空間を創出します。	全ての人が利用しやすい場所	多様性への対応	多機能トイレ、外国人案内板